

150
周年

児童や教員、保護者が協力して制作に
励み、合計2万2365枚のおにぎりが
集まりました。



20
周年

周年行事特集

吉川小学校

創立20周年を迎えた吉川
小学校では、全校児童
109人が吉川の自慢を
一つずつ見つけ、「吉川
百景」を制作しました。



40
周年

創立40周年を迎えた春日
中学校では、周年記念体育祭、
また春日祭として希望者によ
るバンド演奏、ダンス、歌
などのステージ発表を行い
ました。



三和中学校

昨年度創立50周年を迎えた三和
中学校は、コロナの関係で1年遅
れて周年行事が開催され、三和出
身者で紫綬褒章を受賞している、
医療用カツラを国内で最初に開発
した上野さんによる公演を行いました。

50
周年

市P連
ワークショップ
レポート

『コロナ共存時代のPTA活動とPTA組織について』をテーマにし、令和4年11月29日に、上越教育プラザにてワークショップが開催されました。はじめに市P連の大谷顧問より、令和4年度の県P連組織に関するアンケート結果の報告をいただきました。大半の学校で「PTA役員の成り手がいない」「PTA活動の内容がほぼ前年度の引き継ぎ」というような問題点があることが分かりました。また、一度は役員を担当していると回答した学校が、全体の七割にも及んでいます。アンケート結果が示す通り、今後のPTA活動のためPTA組織改革が必要と感じている学校が多いという現状が見えてきました。

先の結果を踏まえて、実際にPTA組織改革を進めた上越教育大学付属中学校のPTA役員の方から、『改革までの道』と称し、実際に取り組んだ改革に説明をいただきました。

PTA役員数を以前の約10パーセントへ削減し、在学中に一度は役員にならなければいけないノルマ制も廃止したそうです。活動内容についても、単年度にて各事業の実施を検討することで、前年度の繰り返しを廃止したとのことでした。

しかしながら、改革は一筋縄ではいかず、ご苦勞をされたようでした。



終盤では各単Pが学校規模ごとに集まり、自校が抱える課題などの意見交換を行いました。

コロナ禍でのPTA活動の取り組みの参考事例や、組織改革へのヒントなど、今後のPTA活動への取り組みにおいて大変収穫のあるワークショップとなりました。

